



SS研ニュースレター選集

vol.14



2014年5月9日発行

ニュースレター選集について

- ◆ 「SS研ニュースレター選集」は、サイエンティフィック・システム研究会（SS研）の分科会活動の活動報告として、1年間の講演資料から代表的なものを選出して冊子としたものです。

毎年5月のSS研通常総会に合わせて発行しています。

下記よりダウンロードできます。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/> 資料ダウンロード ニュースレター選集

- ◆ 分科会活動の講演資料はSS研 Web サイトに掲載しています。
（一部SS研会員限定）

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/> 資料ダウンロード ニュースレター

表紙画像



右上	提供：Lawrence Berkeley National Laboratory Horst Simon様 Why we need Exascale and why we Won't get there by2020 より
左下	提供：国立情報学研究所 北本様 データ中心時代のメディア～ 分野を超えた共通認識に向けて より

巻頭言

サイエンティフィック・システム研究会
会長 村上 和彰
(九州大学情報基盤研究開発センター)

サイエンティフィック・システム研究会 (SS研) は、大学や研究所などの科学技術分野におけるコンピュータ利用機関を主体とした研究会として1978年に設立されました。以来35年間、会員の相互利益を図ることを目的に、各種の分科会やWGなどの活動を通じて、コンピュータのシステム技術、応用技術、利用技術に関する質の高い情報共有・情報交換、そしてユーザとベンダーとの間での高度な議論の場として機能しています。これらのうち分科会活動の内容は『ニュースレター』で随時ご紹介しているところです。

この1年間のSS研の活動を振り返ってみますと、本冊子の巻末の活動一覧にあります通り、分科会、WG、タスクフォースともいずれも時宜を得た企画であり、有益な講演やディスカッションを行うことが出来たと思います。その中でも特に会員の皆様のご参考となるとされる講演資料を、皆様からのアンケート結果を参考にしながら選び出したのが、この『ニュースレター選集』です。将来の教育の有り様を大きく変える可能性を秘めたMOOC (Massive Open Online Course)、ビジネスのみならず教育研究でも活用が進むビッグデータ、開発が始まったポスト「京」となるエクサスケールスーパーコンピュータ、等の教育研究現場の「今」を反映した選集になっているかと存じます。

14年にもわたって『ニュースレター選集』を発刊でき、今号で第14巻を数え、会員の皆様に通常総会でお渡しできることは大きな喜びでございます。2009年発刊の第9巻からは、会員以外の方にも広くご覧頂けるようになりました。SS研の活動成果を会員が活用されるのと同様に、会員外へも積極的に情報発信することによって広く社会に役立てる方針の一環です。これもひとえに、活動に熱心にご参加頂いている会員の皆様、広報委員および関係者の方々のご理解・ご協力によるものであります。ここに厚く感謝するとともに、この選集が広く活用されることを願って止みません。

2014年5月